

5 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品、ソフトウェア、商標権・・・定額法

リース資産・・・・・・・・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産についてはリース期間を耐用年数として、残存価額をゼロとする定額法

(2) 引当金の計上基準

賞与引当金・・・・・・・・職員に対する賞与の支給に備え、支払見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金・・退職給付に係る見積債務額から年金資産額を控除したもの。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	—
合 計	3,000,000	(0)	(3,000,000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	4,435,200	3,141,600	1,293,600
什器備品	1,431,100	1,078,689	352,411
ソフトウェア	3,246,375	1,519,086	1,727,289
商標権等	346,196	346,190	6
合 計	9,458,871	6,085,565	3,373,306

5. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 上の 記載区分
補助金 「栄養の日・栄養週間 2023」都道府県栄養士会 への活動経費支援金	(公社) 日本栄養士会	0	100,000	100,000	0	-
2023年度日本栄養士会 災害対策支援チーム (JDA-DAT) 運営費用支 援金	(公社) 日本栄養士会	0	26,000	26,000	0	-
合 計		0	126,000	126,000	0	

6. その他

令和6年1月の能登半島地震に対して日本栄養士会が行う被災者支援活動の支援金として、同年2月に100,000円の寄付を行った。